

政策シート (政策名) 快適な道路・川づくり
(予算費目名) 道路企画費

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

10年後の目標 ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。
・

◆基本政策 安全な生活基盤づくり

◇政策の概要

・市民が安全・安心に生活できるように道路が適正かつ持続的に保全され、交通事故や災害が少ない都市を実現する。
①道路ネットワークの整備・強化

◇関連するSDGsのゴール

①都市

◇政策のコスト(千円)

Table with 6 columns: H27, H28, H29, H30, R1. Rows include 予算, 決算, 人件費(A), 報酬(B), 年間経費(予算又は決算+A+B).

◇政策の指標

Table with 9 columns: 政策指標, 単位, R6目標値, 年度, H27, H28, H29, H30, R1. Row 1: 現道改良の整備率, %, 61.4, 目標 60.3, 実績 60.4, 目標 60.8, 実績 60.8, 目標 60.9, 実績 61, 目標 61.1, 実績 61.1 (R1.7確定).

◇平成30年度の政策評価(政策の概要)

・市民が安全・安心に生活できるように道路が適正かつ持続的に保全され、交通事故や災害が少ない都市を実現する。
①道路ネットワークの整備・強化

◇平成30年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 進んでいる
①コンパクトシティ、道路ネットワークの整備・強化に向け、道路改良事業の推進を図った。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)	
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)		非常勤
1	道路関係調査事業			○		42,278	22,678	2.8				
2	市道整備事業	○	○	○		1,196,100	1,173,980	3.0			0.4	
3	国道道整備事業	○	○	○		1,327,023	1,304,903	3.0			0.4	
4	道路整備推進事業					43,200	36,200	1.0				
5	スマートインターチェンジ関連整備事業	○	○	○		539,300	531,600	1.1				
6	三遠南信自動車道関連整備事業	○	○	○		1,040,760	1,029,000	1.6			0.2	
7	国直轄道路事業(負担金)			○		1,070,400	1,062,000	1.2				
8	道路企画運営経費(一般諸経費のみ)					97,534	82,134	1.8			1.0	
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						5,356,595	5,242,495	15.5			2.0	

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 道路関係調査事業

◇事業目的・事業対象

安全で安心な道路空間の構築や維持管理コストの縮減・平準化を実現するために、現状の把握について調査・検討を行い、具体的な対策案を策定する。

◇事業の概要

【道路交通調査事業】

道路及び道路交通の現状を把握して、その実態と問題点を把握するために実施し、調査範囲は、舘山寺SIC、三遠南信自動車道の佐久間川合IC～東栄ICの開通後の周辺道路への影響検証を実施する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H20	-	一般会計	自治事務(法令義務)		-	-	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	76,400	76,400	26,887	25,123	22,678
	決算	78,258	56,488	42,511	18,368	
	国・県支出	4,350	1,404	2,396	2,184	
	市債					
	その他					
	一般財源 一般会計繰入金	73,908	55,084	40,115	16,184	22,678
人件費(報酬等) (千円)						
人件費 (千円)		27,100	16,600	19,600	19,600	19,600
人工	正規	3.5	2.0	2.8	2.8	2.8
	再任用(h31)					
	再任用(h26)	1.0	1.0			
	非常勤					

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	○ 11.3
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

交流人口の拡大や地元産業の強化等、持続可能な都市づくりに必要な道路整備に向けての検討。

◇事業の指標 (R1: 総合戦略最終年度、R4: 重点戦略最終年度、R6: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

【道路交通調査事業】

道路及び道路交通の現状を把握して、その実態と問題点を把握するために実施し、調査範囲は浜松環状線内渋滞状況調査を行った。

【浜松三ヶ日・豊橋道路検討業務】

H29より国直轄調査に移行した浜松三ヶ日・豊橋道路について、本道路の有効性等について、企業ヒアリング等を実施した。

[決算18,368千円(うち前年度繰越0千円)]

・事業の成果と課題

指標の達成度

達成

【道路交通調査事業】

浜松環状線内及び関連道路の渋滞状況調査を実施。

【浜松三ヶ日・豊橋道路検討業務】

本道路計画周辺地区の企業を対象にヒアリングを実施。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・当初の計画通り、事業効果の検証を行った。引き続き、継続して取り組んでいく。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・事業効果を把握するために、継続して調査を行う。

補助シート (事業名) 道路関係調査事業

◇【R1～R4】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
〇〇	道路交通調査事業	道路交通調査事業	道路交通調査事業	道路交通調査事業
〇〇				

◇【H27～H30】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30
〇〇	次期みちづくり計画策定 達成状況調査と基本 方針案の整理	次期みちづくり計画策定 計画案の作成 パブコメの実施		
〇〇	道路交通調査事業	道路交通調査事業	道路交通調査事業	

事業シート (事業名) 市道整備事業

◇事業目的・事業対象

東名高速道路など恵まれた交通環境を活かしたバランスの良い道路整備を促進するため、幹線道路を軸に地域の特性を配慮した補助幹線として、利用度が高く投資効果のある路線から重点的に整備を進め、安全で快適な生活環境を目指す。

◇事業の概要

【R1-R4重点戦略項目No148,150,151】

- 市道整備事業
- ・国交付金事業
 - 社会資本整備総合交付金事業
 - 道路改良(実施中) 1路線
 - ・国交付金事業
 - 地方創生道整備推進交付金事業
 - 道路改良(実施中) 2路線
 - ・単独事業
 - 中規模要望ほか

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H19	-	一般会計	自治事務(法令義務)	道路法第17条	○	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	728,684	1,249,885	950,914	972,616	1,173,980
	決算	1,018,339	986,529	1,108,466	876,664	
	国・県支出	198,571	251,067	338,488	230,020	299,823
	市債	310,500	429,600	280,800	433,400	742,600
	その他					7,000
	一般財源 一般会計繰入金	509,268	305,862	489,178	213,244	124,557
人件費(報酬等) (千円)						
人件費 (千円)		19,300	15,800	22,120	22,120	22,120
人工	正規	2.5	2.0	3.0	3.0	3.0
	再任用(h31)	0.5	0.5			
	再任用(h26)					
	非常勤			0.4	0.4	0.4

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	○ 11.3、11.6、11.a
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

コンパクトシティの形成に向け浜松市が掲げる拠点ネットワーク型の都市づくりが実現する。また、新たな道路ネットワークの構築により、周辺道路等において渋滞の緩和が図られる。

◇事業の指標 (R1: 総合戦略最終年度、R4: 重点戦略最終年度、R6: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
道路改良率							
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値	59.3	59.6	60	60	60.3	60.4	60.4
実績値	59.5	60	60	R1.7確定			
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
市街地と高速道路を結ぶ道路ネットワーク機能の充実 対象路線整備率 (%)							
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値					55	75	100
実績値				55			
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
拠点間の連携に資する幹線道路の整備 対象路線整備率 (%)							
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値					0	30	80
実績値				0			
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
中規模要望(高判定)の残件数(件)※平成30年度末時点における累積未実施分(土木部全体)							
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値					335	46	0
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

市道整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・国交付金事業 [決算79,760千円(うち前年度繰越52,900千円)] <ul style="list-style-type: none"> 社会資本整備総合交付金事業 道路改良(実施中) 1路線 ・国交付金事業 [決算372,304千円(うち前年度繰越82,820千円)] <ul style="list-style-type: none"> 地方創生道整備推進交付金事業 道路改良(実施中) 2路線 ・単独事業 [決算404,077千円(うち前年度繰越20,523千円)]
--------	--

・事業の成果と課題

<p>指標の達成度</p> <p><input type="checkbox"/> 計画通り</p> <p>・概ね、予定通りに進捗した。事業用地確保が出来ず、道路改良工事に着手できない箇所があった。</p>

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・生活道路である市道改良の推進を図った。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・事業用地を確保し、生活道路である市道の改良に今後も継続して取り組む。

補助シート (事業名) 市道整備事業

◇【R1～R4】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
148	中規模要望事業の実施	中規模要望事業の実施	中規模要望事業の実施	中規模要望事業の実施
150	アクセス道路の整備 ・用地、物件補償 ・道路改良工	アクセス道路の整備 ・用地、物件補償 ・道路改良工	アクセス道路の整備 ・用地、物件補償 ・道路改良工	アクセス道路の整備 ・用地、物件補償 ・道路改良工
151	拠点間の連携に資する 幹線道路の整備 ・用地、物件補償 ・道路改良工	拠点間の連携に資する 幹線道路の整備 ・用地、物件補償 ・道路改良工	拠点間の連携に資する 幹線道路の整備 ・用地、物件補償 ・道路改良工	拠点間の連携に資する 幹線道路の整備 ・用地、物件補償 ・道路改良工

◇【H27～H30】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30
〇〇				
〇〇				

事業シート (事業名) 国県道整備事業

◇事業目的・事業対象

政令指定都市移行後、県より移譲された国県道について、円滑な自動車交通ネットワークを構築するために道路整備を推進する。

◇事業の概要

【R1-R4重点戦略項目No148,150,151】

国県道整備事業

- ・国交付金事業
 - 社会資本整備総合交付金事業
 - 国道:道路改良(実施中) 3路線 5工区
 - 県道:道路改良(実施中) 4路線 4工区
- ・市単独事業
 - 中規模要望ほか
- ・防衛施設周辺整備事業

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H19	-	一般会計	自治事務(法令義務)	道路法第17条	○	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	996,478	1,113,225	1,116,494	900,681	1,304,903
	決算	1,945,826	1,359,455	1,281,060	1,028,215	
	国・県支出	581,296	350,506	471,381	299,329	456,256
	市債	531,900	415,500	363,900	455,300	518,000
	その他					30,400
	一般財源 一般会計繰入金	832,630	593,449	445,780	273,586	300,247
人件費(報酬等)(千円)						
人件費(千円)		12,300	15,800	22,120	22,120	22,120
人工	正規	1.5	2.0	3.0	3.0	3.0
	再任用(h31)	0.5	0.5			
	再任用(h26)					
	非常勤			0.4	0.4	0.4

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	○ 11.3、11.6、11.a
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

コンパクトシティの形成に向け浜松市が掲げる拠点ネットワーク型の都市づくりが実現する。また、新たな道路ネットワークの構築により、周辺道路等において渋滞の緩和が図られる。

◇事業の指標(R1:総合戦略最終年度、R4:重点戦略最終年度、R6:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
道路改良率							
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値	68.6	68.8	69	69.1	69.2	69.4	69.6
実績値	68.7	69	70	R1.7確定			
市街地と高速道路を結ぶ道路ネットワーク機能の充実 対象路線整備率(%)							
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値					55	75	100
実績値			55				
拠点間の連携に資する幹線道路の整備 対象路線整備率(%)							
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値					0	30	80
実績値			0				
中規模要望(高判定)の残件数(件)※平成30年度末時点における累積未実施分(土木部全体)							
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値					335	46	0
実績値							

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

国道整備事業 ・国交付金事業 [決算558,107千円(うち前年度繰越132,300千円)]
 社会資本整備総合交付金事業
 国道:道路改良(実施中) 3路線
 県道:道路改良(実施中) 2路線
 ・単独事業 [決算457,169千円(うち前年度繰越167,546千円)]
 ・防衛施設周辺整備事業

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

・概ね、予定通りに進捗した。事業用地確保が出来ず、道路改良工事に着手できない箇所があった。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・コンパクトシティの実現に向けて、幹線道路網の整備を進める。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・コンパクトシティの実現に向けて、幹線道路網の整備を進める。

補助シート (事業名) 国県道整備事業

◇【R1～R4】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
148	中規模要望事業の実施	中規模要望事業の実施	中規模要望事業の実施	中規模要望事業の実施
150	アクセス道路の整備 ・用地、物件補償 ・道路改良工	アクセス道路の整備 ・用地補償 ・道路改良工	アクセス道路の整備 ・用地補償 ・道路改良工	アクセス道路の整備 ・用地補償 ・道路改良工
151	拠点間の連携に資する 幹線道路の整備 ・用地補償 ・道路改良工	拠点間の連携に資する 幹線道路の整備 ・用地補償 ・道路改良工	拠点間の連携に資する 幹線道路の整備 ・用地補償 ・道路改良工	拠点間の連携に資する 幹線道路の整備 ・用地補償 ・道路改良工

◇【H27～H30】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30
〇〇				
〇〇				

事業シート (事業名) 道路整備推進事業

◇事業目的・事業対象

道路整備事業に係る国庫補助事業の運営に必要な経費の管理。

◇事業の概要

道路整備事業に係る国庫補助事業を執行するために必要な経費の適正な予算執行を行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H22	-	一般会計	自治事務(その他)		-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	35,313	36,640	25,760	26,210	36,200
	決算	18,811	31,989	21,772	14,641	
	国・県支出					
	市債					
	その他					
	一般財源	18,811	31,989	21,772	14,641	36,200
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等) (千円)						
人件費 (千円)		7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
人工	正規	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤					

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

--

◇事業の指標 (R1: 総合戦略最終年度、R4: 重点戦略最終年度、R6: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

道路整備事業に係る国庫補助事業を執行するために必要な経費の適正な予算執行を行う。

・事業の成果と課題

指標の達成度

道路事業の執行に伴い、必要な経費の適正な予算執行を行う事ができた。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

事業シート (事業名) スマートインターチェンジ関連整備事業

◇事業目的・事業対象

東名高速道路の三方原パーキングエリア及び館山寺バス停にスマートインターチェンジを設置することにより、新たな広域交通の拠点を形成し、高速道路と一般道路のネットワークを強化することで、利便性の向上、産業・経済の活性化、観光交流を促進する。また、スマートインターチェンジへのアクセス道路等の整備を行う。

◇事業の概要

【H27-H30重点戦略項目No.83】【R1-R4重点戦略項目No.150】

三方原スマートインターチェンジのアクセス道路となる有玉南初生線の交差点改良・道路拡幅整備及び館山寺スマートインターチェンジ周辺の道路整備等を行います。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H25	H31	一般会計	自治事務(法令義務)		○	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	609,108	1,053,024	887,810	1,120,440	531,600
	決算	991,880	1,549,914	785,992	1,033,694	
	国・県支出	434,694	616,992	315,035	358,211	120,000
	市債	482,900	846,300	432,100	264,200	108,000
	その他					
	一般財源 一般会計繰入金	74,286	86,622	38,857	411,283	303,600
人件費(報酬等) (千円)						
人件費 (千円)		8,400	17,500	17,500	7,700	7,700
人工	正規	1.2	2.5	2.5	1.1	1.1
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤					

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション	○ 9.1,9.2		

・事業とゴールの関連性

スマートIC及びアクセス道路の整備により、東名高速道路とのアクセスが向上し、
 ・物流網の強化による企業誘致の促進・雇用拡大等の地域産業の活性化
 ・観光振興による地域活性化
 ・災害時の救援・復旧活動の迅速化
 などの多面的な効果が期待される。

◇事業の指標(R1:総合戦略最終年度、R4:重点戦略最終年度、R6:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
					III-1(1)イ		H27~H30	R1~R4
事業費ベースによる進捗率(%)							83	150
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	52	69	70	87	90	100	100	
実績値	25	52	61	69				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
市街地と高速道路を結ぶ道路ネットワーク機能の充実 対象路線整備率(%)								150
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値					55	75	100	
実績値			55					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

【H27-H30重点戦略項目No.83】

三方原及び館山寺スマートICのアクセス道路となる有玉南初生線外6線の交差点改良・道路拡幅整備等を行い、三方原スマートICは平成29年3月、館山寺スマートICは平成31年3月に開通した。

[決算1,033,694千円(うち前年度繰越325,616千円)]

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

三方原スマートIC、館山寺スマートICともに開通した。

今後、三方原スマートICのアクセス道路となる(都)有玉南初生線(供用目標:平成34年度)の整備を推進し、早期の供用開始を目指す。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・三方原スマートICの利用促進のため、アクセス道路となる(都)有玉南初生線の整備を進める。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・三方原スマートICの利用促進のため、アクセス道路となる(都)有玉南初生線の整備を進める。

補助シート (事業名) スマートインターチェンジ関連整備事業

◇【R1～R4】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
150	アクセス道路の整備 ・用地、物件補償 ・道路整備工事	アクセス道路整備 ・用地、物件補償 ・道路整備工事	アクセス道路整備 ・用地、物件補償 ・道路整備工事	アクセス道路整備 ・用地、物件補償 ・道路整備工事

◇【H27～H30】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30
83	アクセス道路整備 ・用地、物件補償 ・道路整備工事 委託工事 ・スマートIC本体	アクセス道路整備 ・用地、物件補償 ・道路整備工事 委託工事 ・スマートIC本体 ●三方原SIC供用開始	アクセス道路整備 ・用地、物件補償 委託工事 ・スマートIC本体	アクセス道路整備 ・用地、物件補償 ・道路整備工事 委託工事 ・スマートIC本体 ●館山寺SIC供用開始

事業シート (事業名) 三遠南信自動車道関連整備事業

◇事業目的・事業対象

三遠南信地域への高速サービスの提供、災害に強い道路網の構築により、地域医療サービスの向上等、安全で快適な生活環境を確保するとともに、三遠南信地域間の交流促進や連携強化による地域の活性化を目指す。

◇事業の概要

【H27-H30重点戦略項目No.83】【R1-R4重点戦略項目No.147】
 ・平成26年3月に現道改良区間と位置付けられた国道152号(水窪北IC～水窪IC)の整備を進め、青崩峠道路等の高規格幹線道路を繋ぐ区間として直轄事業と同調した供用を目指す。
 ・平成30年度の佐久間道路((仮)佐久間IC～(仮)東栄IC)の供用目標に合わせ、(仮)佐久間IC及び(仮)浦川ICのアクセスルートの改良及び防災工事を実施する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H27	H34	一般会計	自治事務(法令義務)		○	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	126,803	404,980	369,903	761,277	1,029,000
	決算	104,334	380,921	553,112	514,418	
	国・県支出	6,600	126,500	212,552	186,802	486,200
	市債	4,800	101,900	230,200	136,300	358,000
	その他					
	一般財源 一般会計繰入金	92,934	152,521	110,360	191,316	184,800
人件費(報酬等)(千円)						
人件費(千円)		4,900	17,500	11,900	4,760	11,760
人工	正規	0.7	2.5	1.7	0.6	1.6
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤				0.2	0.2

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	○ 11.1、11.a
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

三遠南信自動車道の整備により、都市と集落地域の連携強化が図られるとともに、災害に強い道路の整備により、安心・安全な生活を確保することができる。

◇事業の指標 (R1: 総合戦略最終年度、R4: 重点戦略最終年度、R6: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
					-		H27~H30	R1~R4
現道改良区間整備率(%)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	6	7	8	9	18	50	70	
実績値	6	7	8	10				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
					-		H27~H30	R1~R4
佐久間道路ICアクセス道路整備率(%)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	20	40	70	100			100	
実績値	20	35	80	100				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

【H27-H30重点戦略項目No.83】

・平成26年3月に現道改良区間と位置付けられた国道152号(水窪北IC～水窪IC)の整備を進め、青崩峠道路等の高規格幹線道路を繋ぐ区間として直轄事業と同調した供用を目指す。
 ・平成30年度の佐久間道路((仮)佐久間IC～(仮)東栄IC)の供用目標に合わせ、(仮)佐久間IC及び(仮)浦川ICのアクセスルートの改良工事を実施する。

[決算514,418千円(うち前年度繰越56,111千円)]

・事業の成果と課題

指標の達成度

進んでいる

【重点戦略項目No.83】

・国道152号現道改良区間(水窪北IC～水窪IC)は、概略設計に引き続き、詳細設計を進めている。
 ・(仮)佐久間IC及び(仮)浦川ICのアクセス道路は、三遠南信自動車道東栄IC～佐久間ICのH30開通に合わせ、整備を進める。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・三遠南信自動車道の開通に向け、国土交通省と連携し事業進捗調整を図った。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・国土交通省と連携し、今後も継続して取り組んでいく。

補助シート (事業名) 三遠南信自動車道関連整備事業

◇【R1～R4】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
147	<現道改良区間整備> ・用地・物件補償 ・橋梁工 ・道路改良工 ・河川護岸工	<現道改良区間整備> ・用地・物件補償 ・橋梁工 ・道路改良工 ・河川護岸工	<現道改良区間整備> ・橋梁工 ・道路改良工 ・河川護岸工	<現道改良区間整備> ・橋梁工 ・道路改良工 ・河川護岸工
〇〇				

◇【H27～H30】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30
83	<現道改良区間整備> 道路・構造物設計 用地・物件調査	道路・構造物設計 用地・物件調査 用地買収 物件補償	改良工事着手 用地買収 物件補償	工事施工 用地買収 物件補償
83	<ICアクセス整備> 工事施工 設計 用地買収 物件補償	工事施工 設計 用地買収 物件補償	工事施工 設計 用地買収 物件補償	工事施工 供用

事業シート (事業名) 国直轄道路事業(負担金)

◇事業目的・事業対象

国土交通省直轄事業として行う国道整備事業への負担金

◇事業の概要

道路法第50条及び交通安全施設等整備事業の推進に係る法律第6条の規定により、政令都市移行に伴い、国直轄事業の事業費負担割合に応じた事業費を市が負担する。

- ①国道474号
 - 三遠・佐久間道路地域連携推進事業
 - 青崩峠道路地域連携推進事業
- ②国道1号
 - 維持管理(防護柵・道路標識・区画線・情報提供機器)
 - 電線共同溝事業

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H19	-	一般会計	自治事務(法令義務)	道路法第50条、交通安全施設等整備事業の推進に係る法律第6条	-	-	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	2,761,000	2,487,000	2,270,333	2,597,667	1,062,000
	決算	2,422,662	2,485,775	2,131,666	2,597,667	
	国・県支出					
	市債	2,206,700	2,258,500	1,681,900	2,353,800	955,800
	その他					
	一般財源	215,962	227,275	449,766	243,867	106,200
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等)(千円)						
人件費(千円)		3,500	3,500	1,400	1,400	8,400
人工	正規	0.5	0.5	0.2	0.2	1.2
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤					

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	○ 11.3
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

三遠南信地域全体の持つポテンシャルを最大限に高めるとともに、広域連携、地方創生の強力な推進に必要な不可欠なものである。

◇事業の指標(R1:総合戦略最終年度、R4:重点戦略最終年度、R6:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

道路法第50条及び交通安全施設等整備事業の推進に係る法律第6条の規定により、政令都市移行に伴い、国直轄事業の事業費負担割合に応じた事業費を市が負担する。

①国道474号

- 三遠・佐久間道路地域連携推進事業
- 青崩峠道路地域連携推進事業

②国道1号

- 維持管理(防護柵・道路標識・区画線・情報提供機器)
- 電線共同溝事業

・事業の成果と課題

指標の達成度

国直轄事業の執行に伴い、必要な負担金の適正な予算執行を行う事ができた。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

国交省施工の三遠南信自動車道の進捗に合わせ、実施している。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

国交省施工の三遠南信自動車道の進捗に合わせ、実施している。

事業シート (事業名) 道路企画運営経費(一般諸経費のみ)

◇事業目的・事業対象

◇事業の概要

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
					-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	60,971	51,487	81,063	82,268	82,134
	決算	50,764	44,690	71,214	82,268	
	国・県支出					
	市債					
	その他				24	43
	一般財源	50,764	44,690	71,214	82,244	82,091
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等) (千円)						
人件費 (千円)		7,000	3,500	6,300	11,900	15,400
人工	正規	1.0	0.5	0.5	1.3	1.8
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤			1.0	1.0	1.0

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

◇事業の指標 (R1: 総合戦略最終年度、R4: 重点戦略最終年度、R6: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

・事業の成果と課題

指標の達成度

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

政策シート (政策名) 快適な道路・川づくり (予算費目名) 街路事業費

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

- 10年後の目標
・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 安全な生活基盤づくり

◇政策の概要

・都市計画道路の整備を進めることにより、市街地における道路ネットワークを構築し、市民が安全で利便性が高く快適に暮らしやすいまちづくりを実現する。

◇関連するSDGsのゴール

Table with 17 columns and 1 row, containing '①都市' in the first column.

◇政策のコスト(千円)

Table with 6 columns (H27, H28, H29, H30, R1) and 5 rows (予算, 決算, 人件費(A), 報酬(B), 年間経費(予算又は決算+A+B)).

◇政策の指標

Table with 9 columns (政策指標, 単位, R6目標値, 年度, H27, H28, H29, H30, R1) and 3 rows of data.

◇平成30年度の政策評価(政策の概要)

・都市計画道路の整備を進めることにより、市街地における道路ネットワークを構築し、市民が安全で利便性が高く快適に暮らしやすいまちづくりを実現する。

◇平成30年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り
都市計画道路の整備により、市街地における道路ネットワークの構築を図ることができた。これにより、周辺道路の混雑緩和や歩行者の安全等を確保することができた。

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	都市計画道路整備事業	○	○	○		1,526,800	1,519,800	1.0				
2	街路整備推進事業					20,040	16,540	0.5				
3	天竜川駅周辺整備事業	○		○		148,500	145,000	0.5				
4	街路事業運営経費(一般諸経費のみ)					8,242	4,742	0.5				
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						1,703,582	1,686,082	2.5				

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 都市計画道路整備事業

◇事業目的・事業対象

都市圏主要幹線道路としての都市計画道路の整備を進め、都市内交通を効率的に処理し、都市部と周辺地域の道路ネットワークとしての連続性を確保することにより、市民生活の快適性を向上させる。

◇事業の概要

【H27-H30重点戦略項目No.82】【R1-R4重点戦略項目No.150】

【国交付金事業】

・国土交通省所管事業の社会資本整備総合交付金及び防災・安全交付金を活用し、事業のスケジュールを明確にした上で、街路事業の推進を図ります。

・(都)植松伊左地線外4路線8工区において、選択と集中を図った上で、用地買収・物件補償及び工事を実施し、事業の進捗を図ります。

【市単独事業】

・補助金(交付金)事業を補完するため、関連した路線(箇所)の整備を行います。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H19	-	一般会計	自治事務(その他)		○	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	1,130,681	1,298,750	948,339	1,524,821	1,519,800
	決算	1,518,133	1,079,671	1,044,893	1,330,271	
	国・県支出	772,683	475,556	487,598	523,843	650,000
	市債	598,300	419,200	371,000	324,500	584,900
	その他					
	一般財源	147,150	184,915	186,295	481,928	284,900
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等)(千円)						
人件費(千円)		14,000	7,000	7,000	7,000	7,000
人工	正規	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤					

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	○ 11.3、11.6、11.a
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

コンパクトシティの形成に向け浜松市が掲げる拠点ネットワーク型の都市づくりが実現する。また、新たな道路ネットワークの構築により、周辺道路等において渋滞の緩和が図られる。

◇事業の指標 (R1: 総合戦略最終年度、R4: 重点戦略最終年度、R6: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
整備率(%)					-		82	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	64.2	64.2	64.9	66.6	67.7	68	68.3	
実績値	64.2	64.2	66	67.7				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
市街地における交通の円滑化(平均旅行速度の向上)(km/h)					Ⅲ-4(1)イ			
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	26	26	26	26	30	30	30	
実績値	26	25	25	26				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
市街地と高速道路を結ぶ道路ネットワーク機能の充実 対象路線整備率(%)							150	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値					55	75	100	
実績値				55				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

【H27-H30重点戦略項目No.82】

【国交付金事業】 [決算1,036,544千円(うち前年度繰越111,420千円)]

・国土交通省所管事業の所管の社会資本整備総合交付金及び防災・安全交付金を活用し、事業のスケジュールを明確にした上で、街路事業の推進を図ります。

・(都)有玉南中田島線外5路線8工区(計9工区)において、選択と集中を図った上で、用地買収・物件補償及び工事を実施し、事業の進捗を図ります。

【市単独事業】 [決算293,727千円(うち前年度繰越25,152千円)]

・補助金(交付金)事業を補完するため、関連した路線(箇所)の整備を行います。

・事業の成果と課題

指標の達成度

都市計画道路の整備を進めることにより、市街地における道路ネットワークの構築を図ることができた。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

当初の計画通り、事業の進捗を図り成果が発揮された。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後も継続して事業に取り組んで行く。

補助シート (事業名) 都市計画道路整備事業

◇【R1～R4】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
150	事業認可を受けている事業を継続して整備。 ・用地買収 ・物件移転補償 ・道路改良工事	事業認可を受けている事業を継続して整備。 ・用地買収 ・物件移転補償 ・道路改良工事	事業認可を受けている事業を継続して整備。 ・用地買収 ・物件移転補償 ・道路改良工事	事業認可を受けている事業を継続して整備。 ・用地買収 ・物件移転補償 ・道路改良工事
〇〇				

◇【H27～H30】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30
82	現在、事業認可を受けている事業を継続して整備していきます。 ・用地買収 ・物件移転補償 ・道路改良工事	現在、事業認可を受けている事業を継続して整備していきます。 ・用地買収 ・物件移転補償 ・道路改良工事	現在、事業認可を受けている事業を継続して整備していきます。 ・用地買収 ・物件移転補償 ・道路改良工事	現在、事業認可を受けている事業を継続して整備していきます。 ・用地買収 ・物件移転補償 ・道路改良工事

事業シート (事業名) 街路整備推進事業

◇事業目的・事業対象

街路整備事業に必要な登記事務等を実施し円滑な事業進捗を図る。

◇事業の概要

街路事業に係る国庫補助事業を執行するために必要な経費の適正な予算執行を行う。

消耗品 : 収入印紙代

手数料 : 不動産鑑定手数料

登記事務 : 所有権移転・土地分筆登記

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H22	-	一般会計	自治事務(その他)		-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	14,200	9,220	8,000	10,130	16,540
	決算	8,435	5,743	2,045	5,375	
	国・県支出					
	市債					
	その他					
	一般財源	8,435	5,743	2,045	5,375	16,540
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等) (千円)						
人件費 (千円)		3,500	3,500	3,500	3,500	3,500
人工	正規	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤					

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

--

◇事業の指標(R1:総合戦略最終年度、R4:重点戦略最終年度、R6:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

街路事業に係る国庫補助事業を執行するために必要な経費の適正な予算執行を行う。

消耗品 : 収入印紙代

手数料 : 不動産鑑定手数料

登記事務 : 所有権移転・土地分筆登記

・事業の成果と課題

指標の達成度

街路事業の執行に伴い、必要な経費の適正な予算執行を行う事ができた。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

当初の計画通り、必要な経費の適正な予算執行を図り成果が発揮された。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後も継続して事業に取り組んで行く。

事業シート (事業名) 天竜川駅周辺整備事業

◇事業目的・事業対象

JR東海道本線天竜川駅に自由通路をはじめとする駅周辺整備やアクセス道路を整備し、公共交通利用の交通結節点機能の向上を図ると共に、周辺地域の利便性を高め、駅を中心とした南北交流の架け橋となるよう、暮らしやすい地区環境を図る。

◇事業の概要

【H27-H30重点戦略項目No.85】

JR東海道本線天竜川駅の橋上化と南北自由通路の新設及び駅前広場の整備等を進めていく。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H19	H30	一般会計	自治事務(その他)		○	-	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	567,998	813,560	1,464,025	639,033	145,000
	決算	532,519	812,159	1,225,333	755,172	
	国・県支出	248,182	381,150	597,833	324,447	37,000
	市債	241,400	380,600	506,600	297,700	43,200
	その他					
	一般財源 一般会計繰入金	42,937	50,409	120,900	133,025	64,800
人件費(報酬等) (千円)						
人件費 (千円)		10,500	3,500	3,500	3,500	3,500
人工	正規	1.5	0.5	0.5	0.5	0.5
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤					

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	○ 11.2、11.3、11.6、11.a
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

コンパクトシティの形成に向け浜松市が掲げる拠点ネットワーク型の都市づくりが実現する。また、公共交通の利便性向上に伴い、車からのモーダルシフトが図られる。

◇事業の指標 (R1: 総合戦略最終年度、R4: 重点戦略最終年度、R6: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
事業費ベースによる進捗率 (%)					-		85	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	17.8	42	88.6	100			100	
実績値	17.8	42	88.8	100				
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
主要な駅、バス停の利用者 (千人)					Ⅲ-4(1)イ			
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	約27,200	約27,200	約27,200	約27,200	約27,200	約27,200	約27,200	
実績値	27,017(H26実績)	27,575(H27実績)	27,632(H28実績)	27,848(H29)				
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

【H27-H30重点戦略項目No.85】

JR東海道本線天竜川駅の橋上化と南北自由通路の新設及び駅前広場の整備等を進めていく。

【国交付金事業】 [決算598,957千円(うち前年度繰越212,540千円)]

【市単独事業】 [決算156,215千円(うち前年度繰越98,886千円)]

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

周辺地域の利便性向上のため、JR東海道本線天竜川駅の橋上化と南北自由通路の整備を進めることができた。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

当初の計画通り、事業の進捗を図り成果が発揮された。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後も継続して周辺道路整備に取り組んで行く。

事業シート

(事業名) 街路事業運営経費(一般諸経費のみ)

◇事業目的・事業対象

◇事業の概要

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
					-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	7,465	7,086	7,086	4,663	4,742
	決算	5,570	5,346	5,421	4,272	
	国・県支出					
	市債					
	その他					
	一般財源	5,570	5,346	5,421	4,272	4,742
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等) (千円)						
人件費 (千円)		3,500	3,500	3,500	3,500	3,500
人工	正規	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤					

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

◇事業の指標 (R1: 総合戦略最終年度、R4: 重点戦略最終年度、R6: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

・事業の成果と課題

指標の達成度

街路事業の執行に伴う適正な予算執行を行う事ができた。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

当初の計画通り、適正な予算執行を図り成果が発揮された。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後も継続して事業に取り組んで行く。

政策シート

(政策名) 快適な道路・川づくり

(予算費目名) 河川費

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

10年後の目標

- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
- ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 安全な生活基盤づくり

◇政策の概要

・水災害を防止・軽減する対策や施設改修などにより、リスク低減を図る。
(河川改良、浸水対策支援)

◇関連するSDGsのゴール

⑪都市	⑬気候変動								
-----	-------	--	--	--	--	--	--	--	--

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29	H30	R1
予算	1,016,163	1,091,987	958,171	963,168	903,987
決算	937,491	1,060,710	946,192	918,965	
人件費(A)	31,880	28,020	31,180	33,300	33,600
報酬(B)					
年間経費(予算又は決算+A+B)	969,371	1,088,730	977,372	952,265	937,587

◇政策の指標

政策指標	単位	R6 目標値	年度	H27	H28	H29	H30	R1
高塚川流域浸水対策アクションプランに基づく床上浸水戸数の解消割合(%)	%	50	目標				0	0
			実績				0	
《河川法》河川の整備済み延長	km	87	目標			86.2	86.3	86.5
			実績			86.2	86.3	
			目標					
			実績					

◇平成30年度の政策評価(政策の概要)

・市民生活の安全・安心のために、水災害を防止・軽減する対策の検討や施設改修などにより、リスク低減を図る。
(河川改良、浸水対策支援)

◇平成30年度の政策評価(政策の進捗・課題)

＜進捗＞ 計画通り
・「浜松市総合雨水対策計画」の重点対策エリア別計画(案)と全体計画(案)を作成した。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	河川改良事業	○	○	○		914,140	893,140	3.0				
2	浸水対策支援事業	○	○			4,055	3,355	0.1				
3	河川運営経費(一般諸経費のみ)					19,392	7,492	1.5			0.5	
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						937,587	903,987	4.6			0.5	

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 河川改良事業

◇事業目的・事業対象

・豪雨による浸水被害を防止・軽減するため、調査・検討を行い、計画的に河川・排水路の改修を実施する。

◇事業の概要

【R1-R4重点戦略項目No.148、163】

◆国交付金事業

・(二)九領川 改修

◆単独事業

・浸水被害の調査、対策検討、治水計画策定
・市管理河川(二級河川・準用河川・普通河川等)改修

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
		一般会計	自治事務	河川法	○	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	1,002,000	1,068,900	930,380	939,461	893,140
	決算	928,443	1,046,983	927,035	907,540	
	国・県支出	27,280	23,160	22,172	59,999	52,000
	市債	10,500	405,900	166,200	234,500	23,400
	その他	9,000	350,000			
	一般財源 一般会計繰入金	881,663	267,923	738,663	613,041	817,740
人件費(報酬等) (千円)						
人件費 (千円)		21,700	16,800	19,600	21,000	21,000
人工	正規	3.1	2.4	2.8	3.0	3.0
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤					

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	○ 11.5、11.b
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	○ 13.1
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

・気候変動に伴い頻発する大型台風や豪雨による浸水等の被害を防止、または軽減する

◇事業の指標 (R1: 総合戦略最終年度、R4: 重点戦略最終年度、R6: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
中規模要望(高判定)の残件数(件)※平成30年度末時点における累積未実施分(土木部全体)								148
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値					335	46	0	
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
高塚川流域浸水対策アクションプランに基づく床上浸水戸数の解消割合(%)								163
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値				0	0	50	50	
実績値				0				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
≪河川法≫河川の整備済み延長 (km)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値			86.2	86.3	86.5	86.8	87	
実績値			86.2	86.3				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

- ◆国交付金事業
- ・(二)九領川 改修

- ◆単独事業
- ・浸水被害の調査、対策検討、治水計画策定
- ・市管理河川(二級河川・準用河川・普通河川等)改修

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- ・「浜松市総合雨水対策計画」の重点対策エリア別計画(案)と全体計画(案)を作成した。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・新たな指標として、「平成30年度末時点における中規模要望の解消件数(件)」、「高塚川流域浸水対策アクションプランに基づく床上浸水戸数の解消割合(%)」を追加した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・河川改良(交付金事業・単独事業)実施する。
- ・「高塚川流域浸水対策アクションプラン」対策メニュー実施し、進捗を管理する。
- ・「浜松市総合雨水対策計画」を策定する。

補助シート (事業名) 河川改良事業

◇【R1～R4】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
148	中規模要望事業の実施	中規模要望事業の実施	中規模要望事業の実施	中規模要望事業の実施
163	高塚川改修 ・ポンプ増設 調査・設計 床上浸水戸数解消割合 0%	高塚川改修 ・ポンプ増設 調査・設計 ・逆流防止施設整備工 事 床上浸水戸数解消割合 0%	高塚川改修 ・ポンプ増設整備工事 床上浸水戸数解消割合 0%	高塚川改修 ・ポンプ増設整備工事 床上浸水戸数解消割合 50%

◇【H27～H30】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30
—				
—				

事業シート (事業名) 浸水対策支援事業

◇事業目的・事業対象

・行政による浸水対策を補完するため、市民の自助・共助による対策を支援する。

◇事業の概要

・土のうステーションの適切な運用を図る。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
					○	-	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	5,000	14,013	20,124	16,000	3,355
	決算	2,754	7,119	12,296	5,235	
	国・県支出					
	市債					
	その他					
	一般財源	2,754	7,119	12,296	5,235	3,355
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等) (千円)						
人件費 (千円)		1,400	2,800	2,100	2,100	700
人工	正規	0.2	0.4	0.3	0.3	0.1
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤					

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	○ 13.1
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

・気候変動に伴い頻発する豪雨による浸水被害を軽減する

◇事業の指標 (R1: 総合戦略最終年度、R4: 重点戦略最終年度、R6: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
浸水対策助成制度(土のうステーション)					-	H27~H30	R1~R4
目標値	制度策定	63箇所	51箇所	10箇所	運用	運用	運用
実績値	策定	40箇所	40箇所	6箇所			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
自分の生命と財産は自分で守らなくてはならないと思う人の割合(%)					Ⅲ-1(1)イ	H27~H30	R1~R4
目標値	77.0	78	79	79	80	81	82
実績値	77.5	78.6	76.5	77.1			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

・土のうステーションを区役所等に設置して、広域的に運用。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

・土のうステーションを区役所等に設置して、広域的な運用を開始した。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・土のうステーションを継続的に実施する。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・土のうステーションの適切な運用を図り、継続する。

事業シート (事業名) 河川運営経費(一般諸経費のみ)

◇事業目的・事業対象

◇事業の概要

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
					-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	9,163	9,074	7,667	7,707	7,492
	決算	6,294	6,608	6,861	6,190	
	国・県支出					
	市債					
	その他					
	一般財源	6,294	6,608	6,861	6,190	7,492
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等) (千円)						
人件費 (千円)		8,780	8,420	9,480	10,200	11,900
人工	正規	1.1	1.1	1.2	1.2	1.5
	再任用(h31)	0.3	0.2	0.3	0.5	
	再任用(h26)					
	非常勤					0.5

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

◇事業の指標 (R1: 総合戦略最終年度、R4: 重点戦略最終年度、R6: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

・事業の成果と課題

指標の達成度

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

政策シート (政策名) 快適な道路・川づくり

(予算費目名) 港湾費

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

- 10年後の目標
- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
 - ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 安全な生活基盤づくり

◇政策の概要

・水災害を防止・軽減する対策や施設改修などにより、リスク低減を図る。
(港湾整備)

◇関連するSDGsのゴール

⑪都市	⑬気候変動								
-----	-------	--	--	--	--	--	--	--	--

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29	H30	R1
予算	25,600	68,310	13,400	16,500	40,000
決算	8,165	18,025	12,395	12,500	
人件費(A)	3,500	3,860	3,160	1,400	1,400
報酬(B)					
年間経費(予算又は決算+A+B)	11,665	21,885	15,555	13,900	41,400

◇政策の指標

政策指標	単位	R6 目標値	年度	H27	H28	H29	H30	R1
港湾施設(導流堤)の改良率	%	100	目標	10	20	35	51	48
			実績	10	22	37	42	
			目標					
			実績					

◇平成30年度の政策評価(政策の概要)

・市民生活の安全・安心のために、水災害を防止・軽減する対策の検討や施設改修などにより、リスク低減を図る。
(港湾整備)

◇平成30年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

県浜名港港湾施設整備事業を行った。
(内容 今切口東導流堤老朽化対策)

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	港湾整備事業				○	41,400	40,000	0.2				
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						41,400	40,000	0.2				

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 港湾整備事業

◇事業目的・事業対象

浜名湖(二級河川 都田川)内にある県管理浜名港の整備・維持管理事業への負担により、船舶の安全航行と災害防止をに寄与する。

◇事業の概要

◆県営事業(負担金)

・県の浜名港港湾施設整備事業に対する負担金。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
			自治事務	港湾法	—	—	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	25,600	68,310	13,400	16,500	40,000
	決算	8,165	18,025	12,395	12,500	
	国・県支出					
	市債					
	その他					
	一般財源	8,165	18,025	12,395	12,500	40,000
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等) (千円)						
人件費 (千円)		3,500	3,860	3,160	1,400	1,400
人工	正規	0.5	0.5	0.4	0.2	0.2
	再任用(h31)		0.1	0.1		
	再任用(h26)					
	非常勤					

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	○ 11.5、11.b
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	○ 13.1
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

・気候変動に伴い頻発する大型台風や豪雨による浸水等の被害を防止、または軽減する

◇事業の指標 (R1: 総合戦略最終年度、R4: 重点戦略最終年度、R6: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
港湾施設(導流堤)の改良率 (%)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	10	20	35	51	48	57	66	
実績値	10	22	37	42				
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

◆県営事業(負担金)

- ・県の浜名港港湾施設整備事業に対する負担金。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

県浜名港港湾施設整備事業を行った。

(内容 今切口東導流堤老朽化対策 全体延長L=212mの内、L=88m完成。改良率42%)

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・ 県事業費に対する所定の割合の負担金を拠出し、事業を推進する。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・ 県事業費に対する所定の割合の負担金を拠出する。

政策シート (政策名) 快適な道路・川づくり

(予算費目名) 都市下水路事業費

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

- 10年後の目標
- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
 - ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 安全な生活基盤づくり

◇政策の概要

・水災害を防止・軽減する対策の検討や施設改修などにより、リスク低減を図る。
(都市下水路整備)

◇関連するSDGsのゴール

⑪都市	⑬気候変動								
-----	-------	--	--	--	--	--	--	--	--

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29	H30	R1
予算	135,364	166,377	165,684	19,665	4,812
決算	165,288	59,804	140,322	121,150	
人件費(A)	2,100	2,100	2,100	1,400	1,400
報酬(B)					
年間経費(予算又は決算+A+B)	167,388	61,904	142,422	122,550	6,212

◇政策の指標

政策指標	単位	R6 目標値	年度	H27	H28	H29	H30	R1
都市下水路の整備率	%	100	目標	65	80	85	85	—
			実績	66.3	75	85	100	
			目標					
			実績					

◇平成30年度の政策評価(政策の概要)

・市民生活の安全・安心のために、水災害を防止・軽減する対策の検討や施設改修などにより、リスク低減を図る。
(都市下水路整備)

◇平成30年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

・西美園都市下水路整備工区を完了した。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	都市下水路整備事業	○	○			6,212	4,812	0.2				
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						6,212	4,812	0.2				

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 都市下水路整備事業

◇事業目的・事業対象

・豪雨による市街地の浸水被害を防止・軽減するため、都市下水路の改修を実施する。

◇事業の概要

◆単独事業
・都市下水路の改修・維持管理

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S38		一般会計	自治事務	下水道法	○	—	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	135,364	166,377	165,684	19,665	4,812
	決算	165,288	59,804	140,322	121,150	
	国・県支出					
	市債	126,200	54,900	114,200	83,600	
	その他		2,000			
	一般財源	39,088	2,904	26,122	37,550	4,812
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等) (千円)						
人件費 (千円)		2,100	2,100	2,100	1,400	1,400
人工	正規	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤					

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	○ 11.5、11.b
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	○ 13.1
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

・気候変動に伴い頻発する大型台風や豪雨による浸水等の被害を防止、または軽減する

◇事業の指標 (R1: 総合戦略最終年度、R4: 重点戦略最終年度、R6: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
都市下水路の整備率								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	65	80	85	85	—	—	—	
実績値	66.3	75	85	100				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

- ◆単独事業
- ・西美園都市下水路

・事業の成果と課題

指標の達成度

- ・西美園都市下水路整備工区を完了した。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・都市下水路施設の維持管理を適切に行う。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・都市下水路施設の点検を実施する。